

NKTT-NNV

取付説明書

車種名	年式	型式
ノア	2014/1~	ZRR80G・ZRR80W
ノア ハイブリッド	2014/1~	ZRR85G・ZRR85W
ヴォクシー	2014/1~	ZWR80G
ヴォクシー ハイブリッド	2014/1~	
エスクァイア	2014/11~	
エスクァイア ハイブリッド	2014/11~	

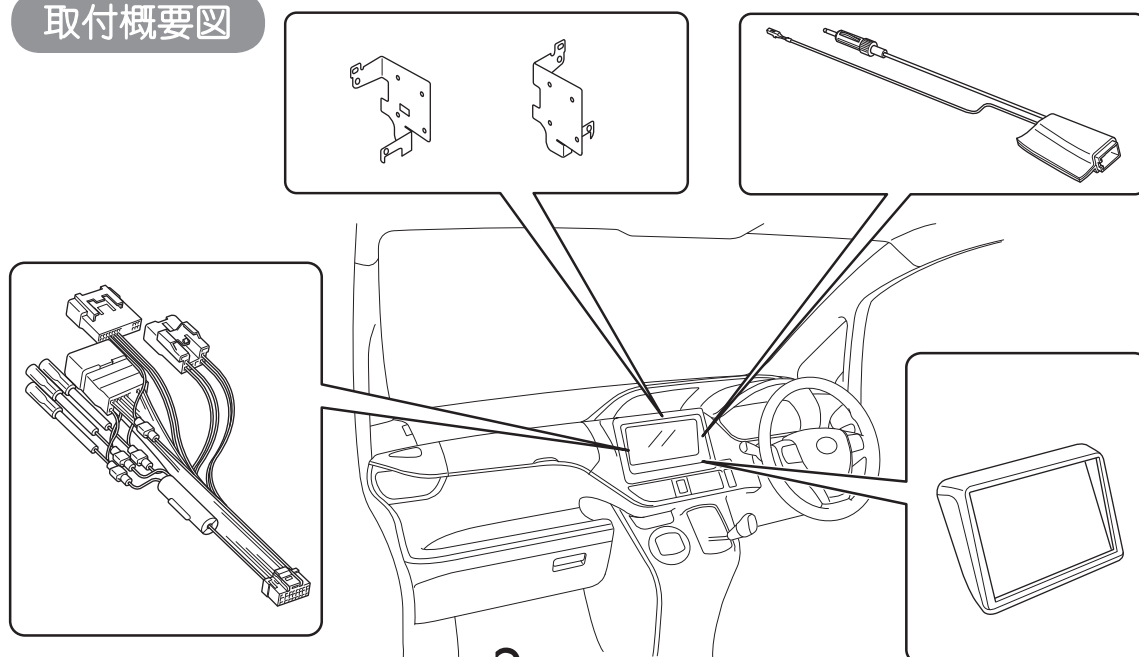
お客様へのお願い

- この説明書はトヨタ ノア/ヴォクシー/エスクァイア専用です。
取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の実装には、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。
- 安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」（ナビゲーション本体に同梱）、「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 「取扱説明書」（ナビゲーション本体に同梱）、「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

—販売店様へ—

- 取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

取付概要図



●目次

取り付ける前に

作業の進め方	2
構成部品	3
安全に正しくお使いいただくために	4

取付要領

接続のしかた	5
車両部品の取り外し	6
メインユニットを取り付ける前に	7
接続コードの取り付け	8
メインユニットの取り付け	9

●作業の前に

- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具のほか、はさみやカッターナイフ、布きれが必要です。
- ねじやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。
- 別売の外部機器を接続する場合には、必ず指定品をお使いのうえ、各機器の取付説明書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

●作業の進め方

- 1) 構成部品の確認★ ————— (☞ 構成部品 P3)
- 2) バッテリーの○端子を外す
- 3) 接続を確認する★ ————— (☞ 接続のしかた P5)
- 4) フィルムアンテナを取り付ける★
- 5) アンテナコードを配線する★
- 6) メインユニットを取り付ける ————— (☞ メインユニットを取り付ける前に P7)
- 7) バッテリーの○端子を元に戻す
- 8) 設定および作動確認をする★

※★印の項目については、ナビゲーション本体に同梱の取付け説明書を合わせてご確認ください。

必要工具

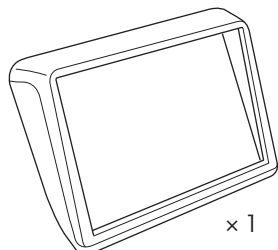
プラスドライバー、マイナスドライバー、ボックスレンチ、リムーバー、クリップ外し、ニッパ、ニードルノーズプライヤー、等

●構成部品

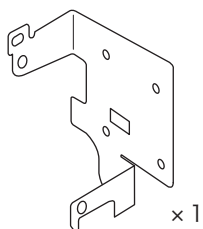
作業前に構成部品が揃っているか確認してください。

●キット関係

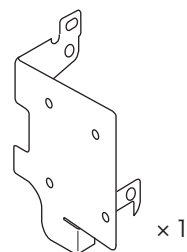
①専用フェイスパネル



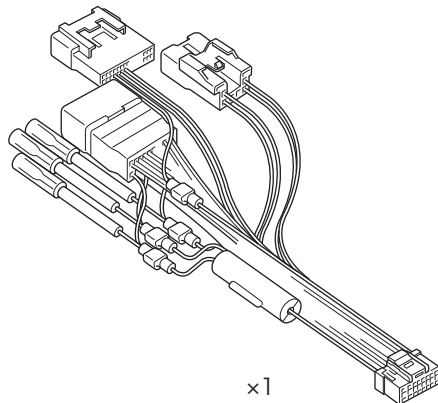
②メインユニット
取付けブラケットL



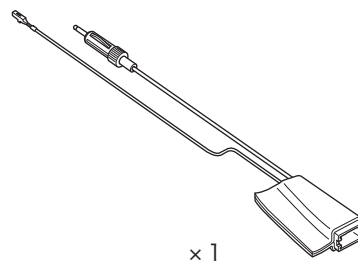
③メインユニット
取付けブラケットR



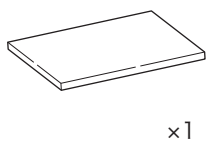
④車両ダイレクト
接続コード



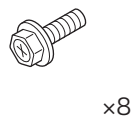
⑤アンテナ
変換コード



⑥フレーム保護テープ



⑦セムス六角ボルト
(M5X8)



●安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

❗ : しなければならないことを表しています。

🚫 : してはいけないことを表しています。

⚠ : 注意をしなければならないことを表しています。

●本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



アドバイス

この表示は、本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと、知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。

⚠ 警告

- ❗ **本機はDC12V マイナスアース車専用です。**
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。
火災の原因となります。
- ❗ **取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずす。**
プラスとマイナス経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- 🚫 **本機を次のような場所には取り付けない。**
本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。
- ⚠ **車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行う。**
車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。
- ❗ **ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。**
破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
- 🚫 **車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。**
保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。
- 🚫 **本機を分解したり、改造しない。**
事故、火災、感電の原因となります。
- ❗ **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。**
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 🚫 **画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しない。**
そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。
- ❗ **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いが出るなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず買い上げの販売店に相談する。**
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 🚫 **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしてはいけない。**
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行う。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。
- 🚫 **電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。**
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- ❗ **接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。**
ショートにより火災、感電の原因となります。
- ❗ **コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。**
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となり危険です。

⚠ 警告

- ❗ **取付説明書で指定された通りに接続する。**
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

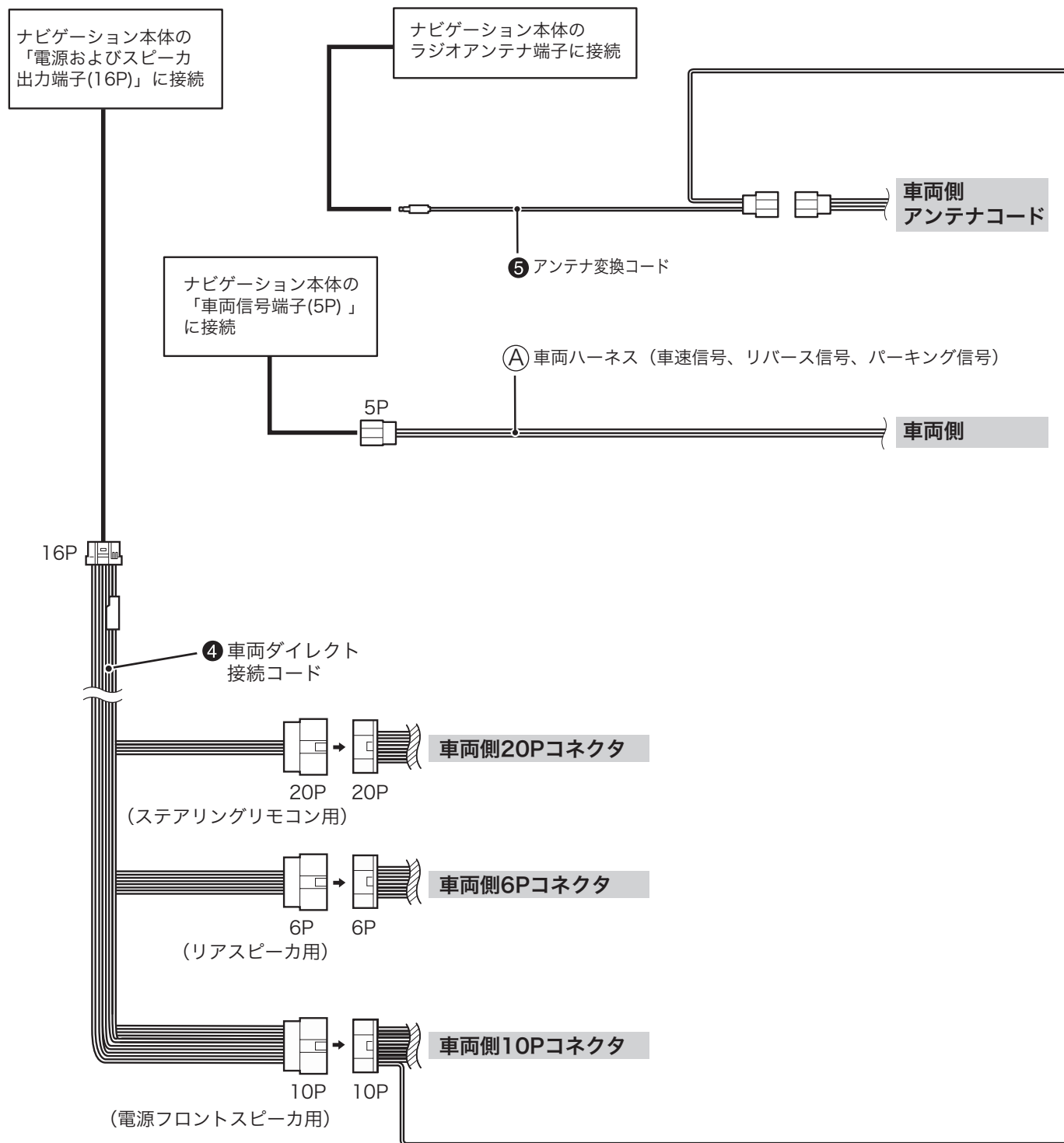
⚠ 注意

- ❗ **本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。**
安全のため必ず買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- ❗ **必ず付属の部品を指定通り使用する。**
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れることがあり危険です。
- 🚫 **雨が吹き込むところなどの水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避ける。**
本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- 🚫 **しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避ける。**
本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- 🚫 **直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けない。**
金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。
また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- 🚫 **本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがない。**
通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ⚠ **車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線する。**
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- ❗ **コードが金属部に触れないように配線する。**
金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- ❗ **コードの配線は、高温部を避けて行う。**
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 🚫 **コード類を決して切断しない。**
コード類には、ヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。
- 🚫 **電源用リード線をバッテリーに直接接続しない。**
機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。
- ⚠ **コード等の車内への引き込みは、十分注意する。**
雨、水の車内への浸入を防ぐためコード等の車内への引き込みには十分気をつけて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となることがあります。
- 🚫 **本機を車載用として以外は使用しない。**
感電や怪我の原因となることがあります。
- ⚠ **本機の取り付けには、車両部品の加工が必要です。**
本機を取り付ける前の状態に復元するには、部品の交換が必要です。ただし、加工した車両部品については、車両メーカーの保証対象外となるおそれがあります。また、本書に従って車両部品の加工を行った結果による車両価値の変動や評価、車両メーカーの保証が受けられなかったことによる修理・交換費用等については弊社では補償いたしかねます。

●接続のしかた

⚠ 注意

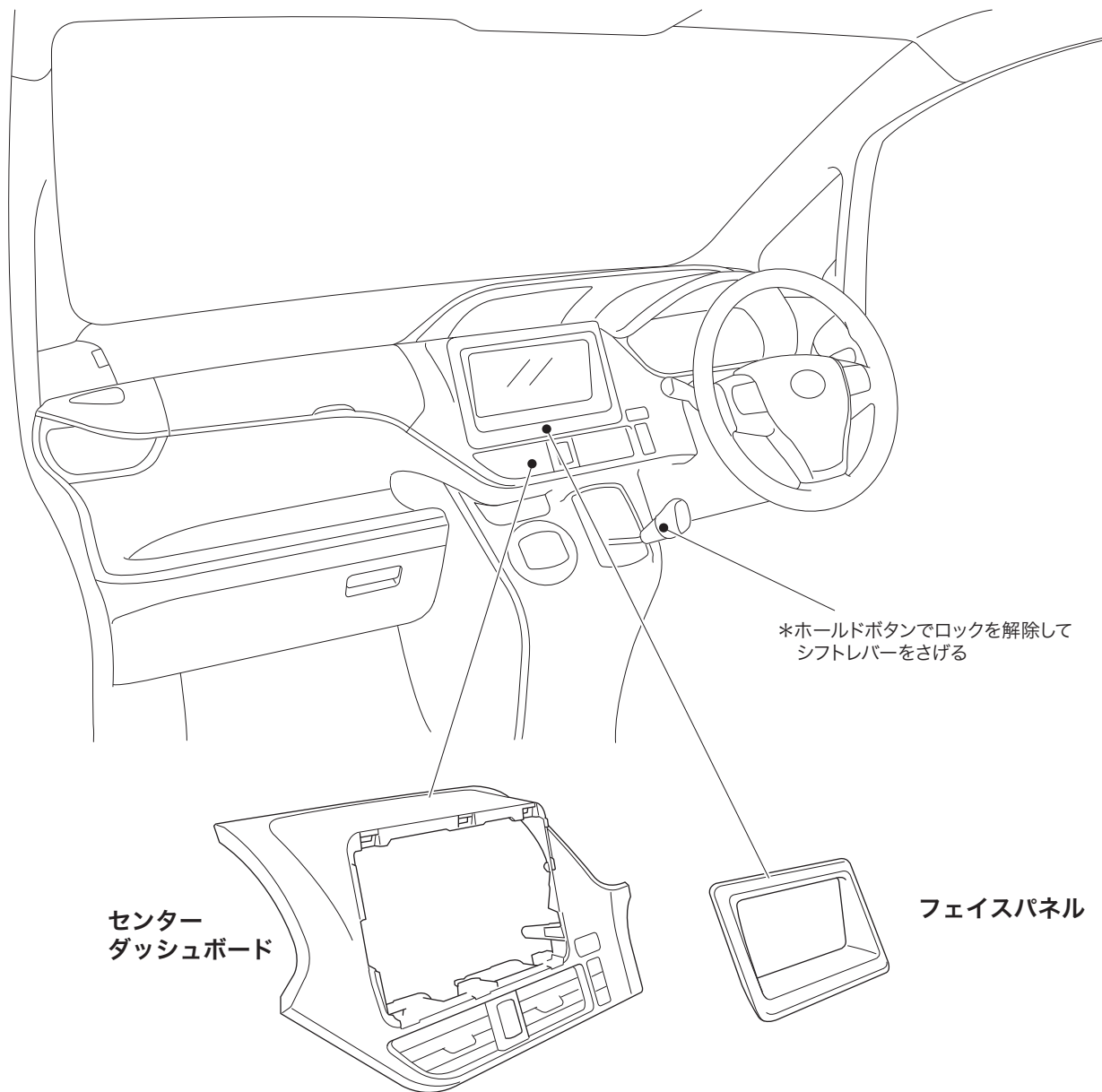
- 接続しない端子は、ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。絶縁処理をしないとショートにより火災・感電の原因になります。



●車両部品の取り外し

■車両部品の取り外し

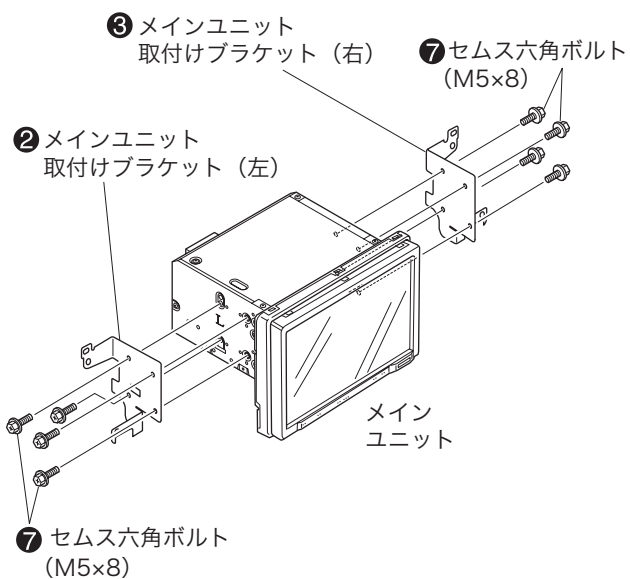
- ・下図に示す内装部品を取り外します。



⚠ 注意

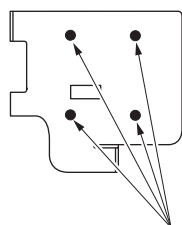
- キズ防止のため、要所をマスキングテープ等で保護してください。
- ネジおよびクリップ等の紛失に注意してください。

●メインユニットを取り付ける前に

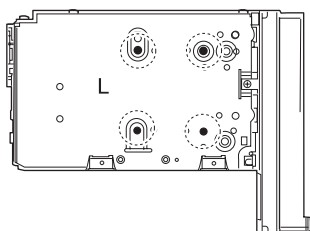


メインユニット取付け
ブラケット (左)

メインユニット



ネジ取り付け穴



1 ブラケットの取付け

1. メインユニットに②③メインユニット取付けブラケット(左右)をはさんで取り付けます。

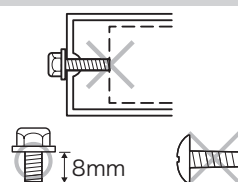
⚠ 注意

ブラケットの取付穴位置は、図の●印の位置を使用して取り付けてください。
(図は左側を示しています。右側も同様に作業を行ってください。)

お願い

- 必ず付属のねじを使用してください。

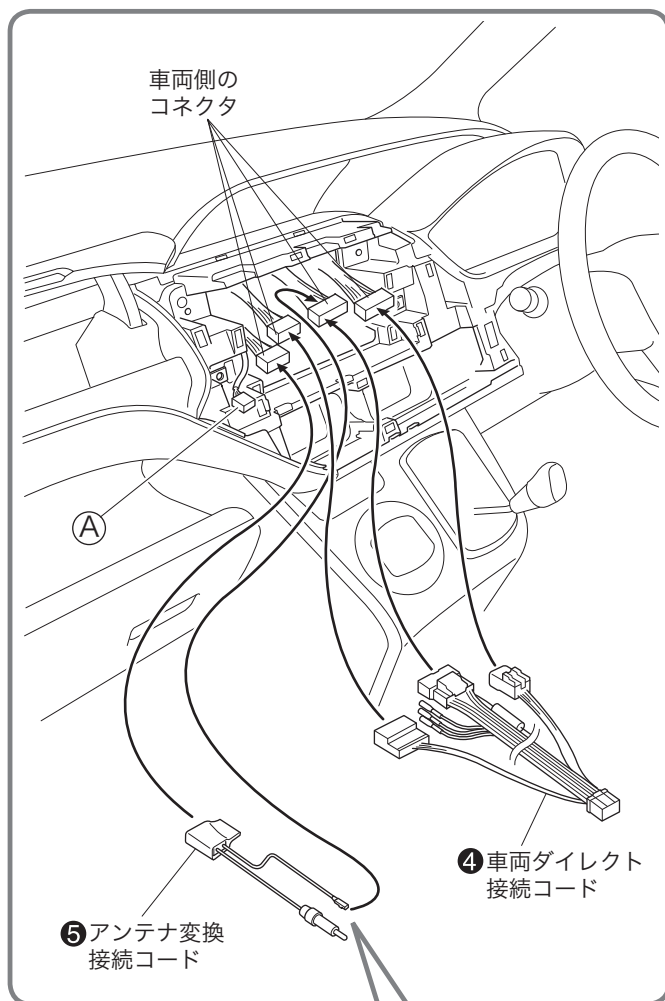
取付ねじは、必ず付属のねじ(M5×8)を使用してください。指定のねじ以外を使用すると機器の内部が損傷するおそれがあります。



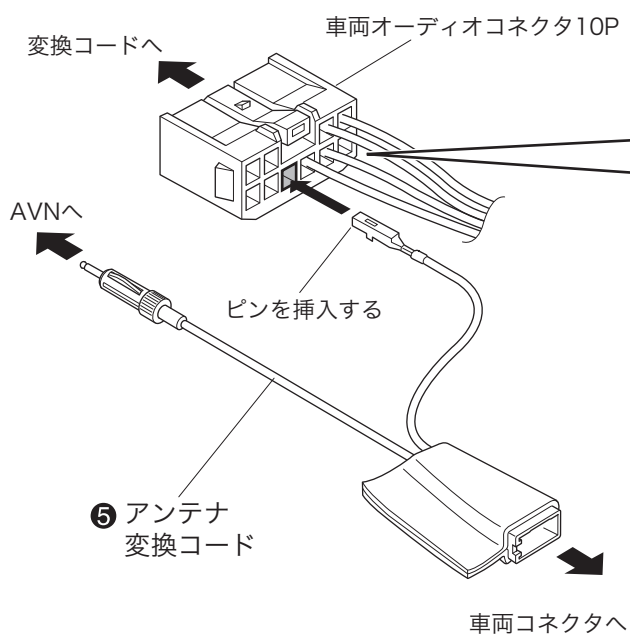
● 接続コードの取り付け

1 接続コードの取り付け

1. ダッシュボード中央開口部の車両側コネクタに④車両ダイレクト接続コード、車両側ラジオアンテナコネクタに⑤アンテナ変換接続コードを接続します。（下図を参照してアンテナ接続コードのピンを車両側10Pコネクタの裏側に取付けます。）

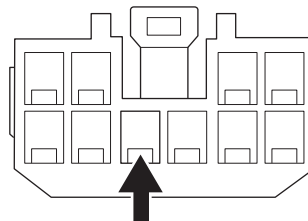


ラジオアンテナ用電源



※ ピンの挿入位置

車両オーディオコネクタ10P

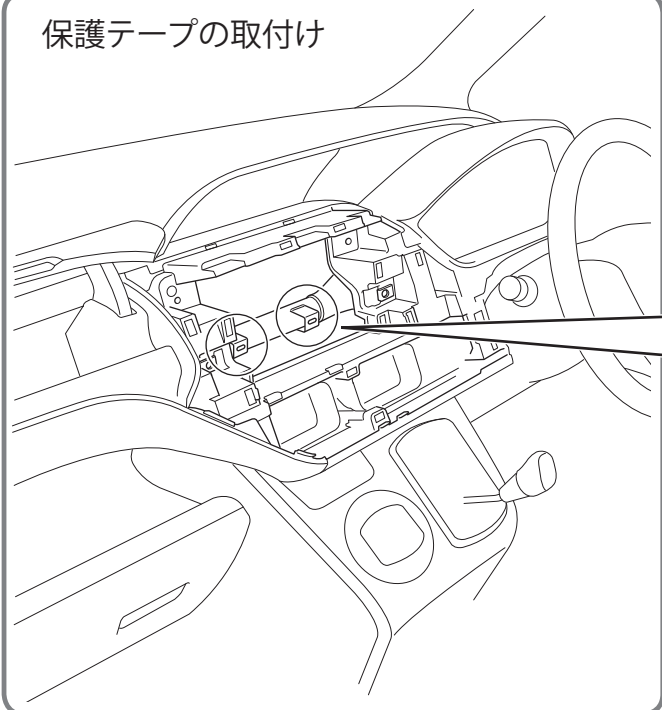


下段の左から3番目

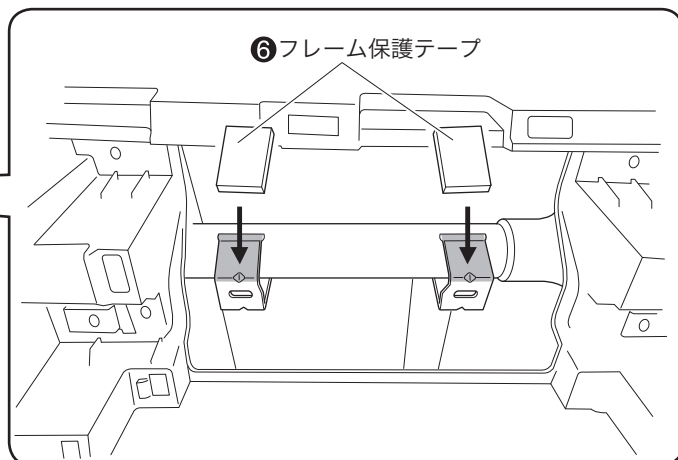
※上の図はハーネス側から見た図です。
すでに上記位置に配線されている場合は、ピンを抜いてからアンテナ変換コードのピンを挿入してください。

●メインユニットの取り付け

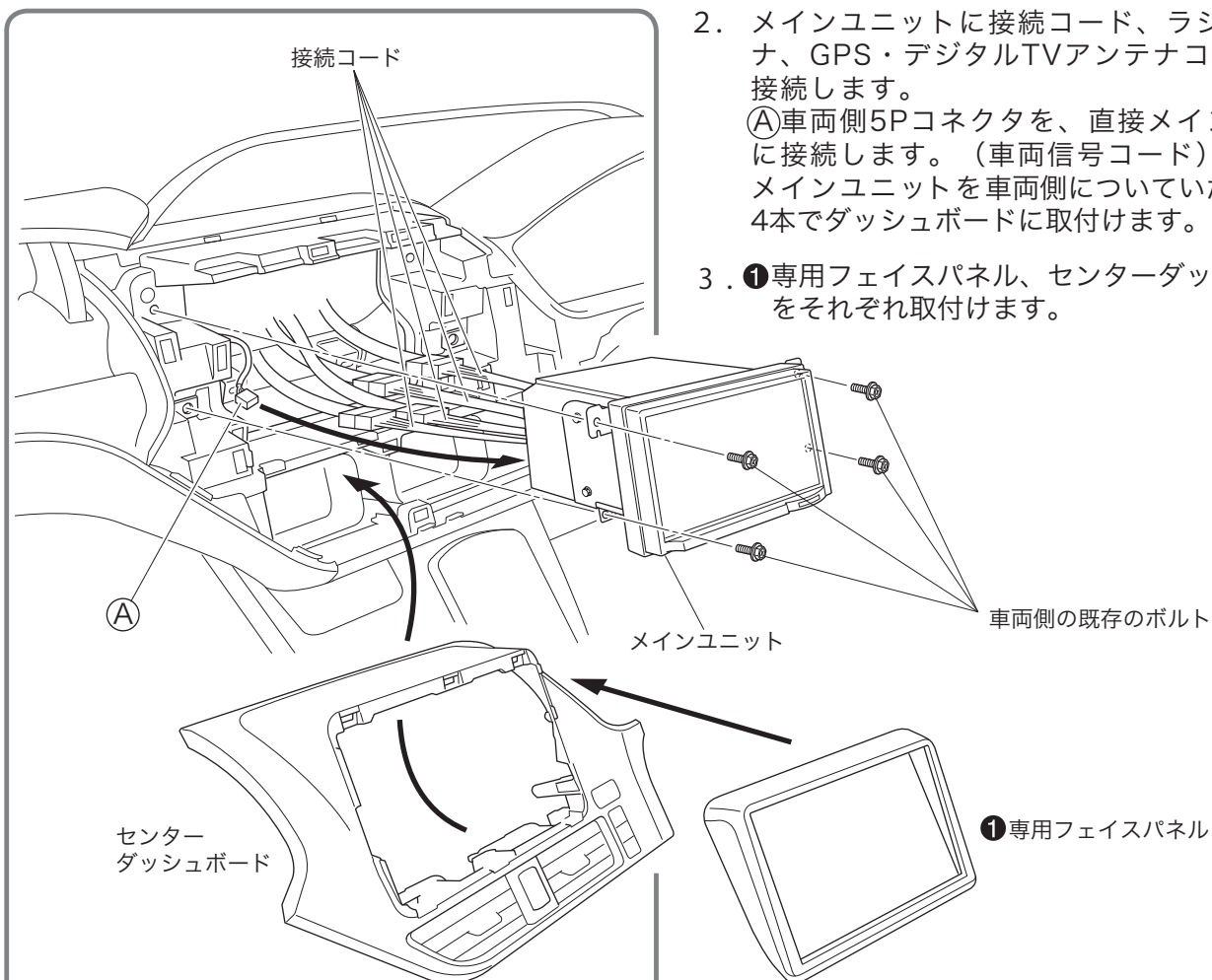
保護テープの取付け



- 最初にダッシュボード中央開口部奥にあるフレームに2ヶ所、⑥フレーム保護テープを2つに切って貼付けます。
メインユニットとフレームとの干渉を防ぎます。



- メインユニットに接続コード、ラジオアンテナ、GPS・デジタルTVアンテナコード等を接続します。
④車両側5Pコネクタを、直接メインユニットに接続します。（車両信号コード）
メインユニットを車両側についていた既存のボルト4本でダッシュボードに取付けます。
- ①専用フェイスパネル、センターダッシュボードをそれぞれ取付けます。



🔧 アドバイス

- 各接続コードを車両側の空いたスペースに逃がしながらメインユニットを取り付けてください。